

経営比較分析表（平成28年度決算）

岡山県 美咲町

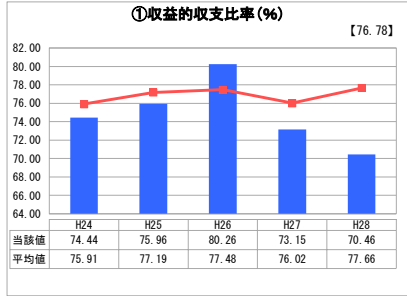
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	95.42	3,560	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
14,951	232.17	64.40
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
14,161	96.10	147.36

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



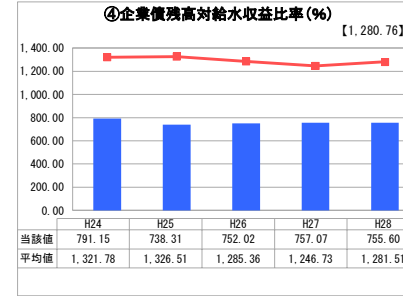
「単年度の収支」



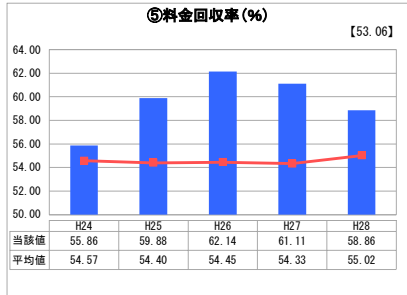
「累積欠損」



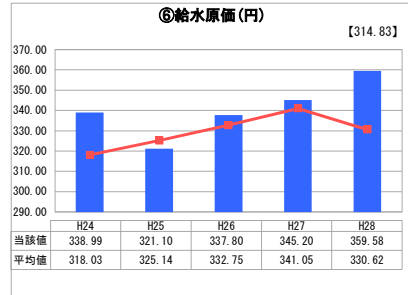
「支払能力」



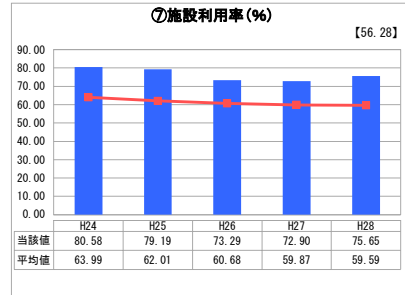
「債務残高」



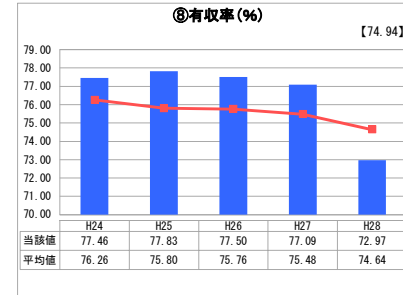
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

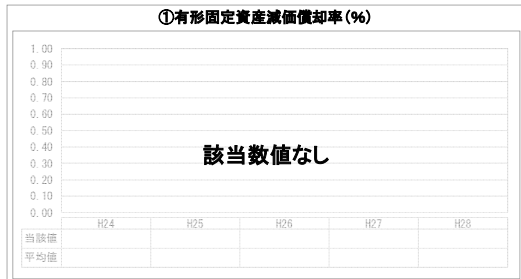


「施設の効率性」

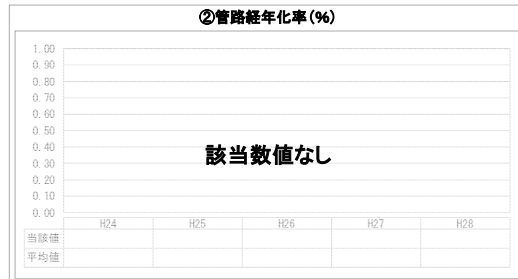


「供給した配水量の効率性」

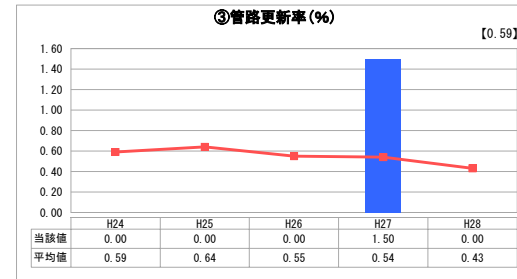
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率は一昨年と前年からその他費用雑入の減、また、維持管理費用の職員給与費の増により比率減少の結果となっている。数値については平均的な値よりやや低い傾向にある。経年でやや下がり傾向に推移していることから今後早急な対応で経営改善に努めていく必要があります。料金回収率についても平均的な値で、経年で山形にやや下降傾向にあるので同じく早期的な取り組みが必要です。また、施設利用率は平均ではありませんが、やや増加の傾向がみえます。有収率については管路等の漏水が重なり特に低い傾向にありますので、施設更新等について早急な改善計画検討が必要になります。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率、管路経年化率ともに該当数値がないため、施設全体を把握するため固定資産の台帳整備等を実施し更新投資並びに維持管理に向け具体的検討が必要である。特に急な修繕対応に備えて引き続き継続的な維持管理に努める必要があります。

全体総括

有形固定資産減価償却率の該当数値なし、また、収益的収支比率の指標が100%に満たないので、継続的な更新投資があり、老朽化対策等、投資のあり方について検討する必要がある。また、償還返済等の負担軽減ができるよう平準化を検討し有利な財源確保についても検討する必要があります。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。